

# ■ 数字で見る東武グループ

## GHG(温室効果ガス)の排出状況について

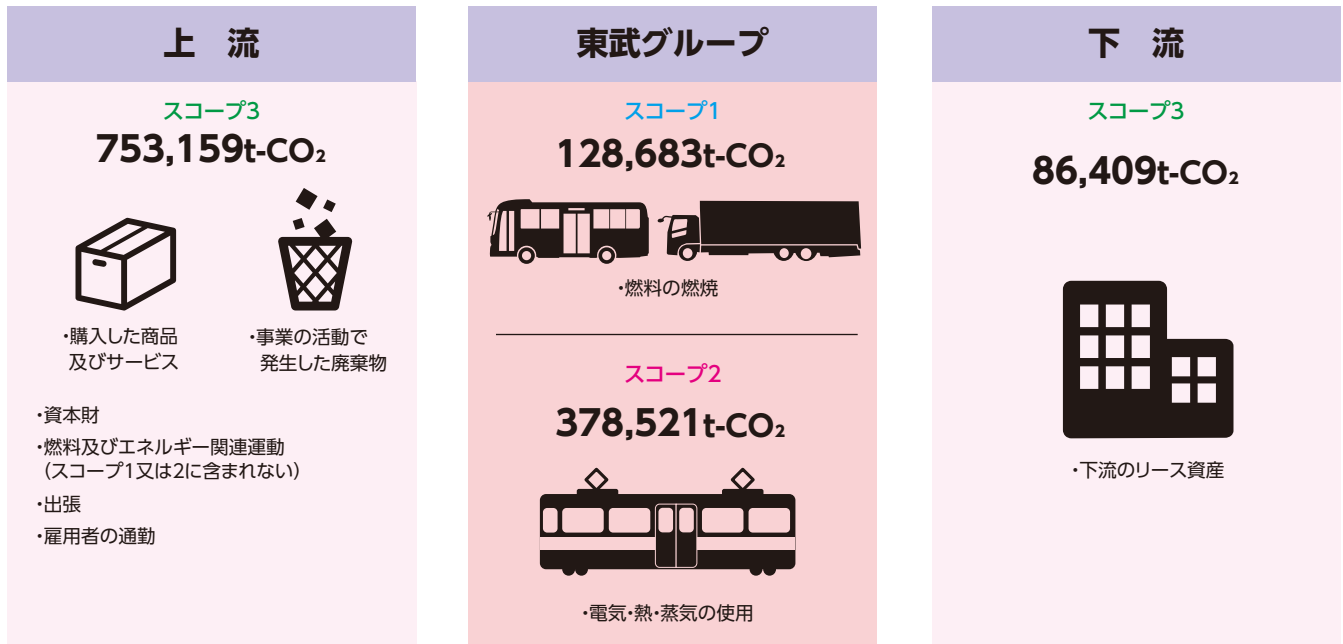
近年、投資家をはじめとするステークホルダーから環境面の取り組みの指標として注目を集めているGHGの排出状況について、当社におけるGHGの排出状況や削減の取り組み・効果などを「数字で見る東武グループ」として取りまとめました。

当社では投資家、企業、国、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営しているCDPからの調査に対して、気候変動関連の質問書に回答しています。

### 〈2022年における温室効果ガス等の排出状況について〉

[集計範囲:東武グループ連結対象会社]

■CO<sub>2</sub>総排出量【**スコープ1+2+3**排出量】1,346,772t-CO<sub>2</sub>



### ◎売上あたりのCO<sub>2</sub>排出量

**0.82t-CO<sub>2</sub>/百万円**

**CO<sub>2</sub>排出量 507,204t-CO<sub>2</sub>/連結収益 614,751百万円 (スコープ1+2)**

### ■鉄道事業におけるCO<sub>2</sub>排出量削減目標 2030年までに約50% (2013年比) 削減



### ◎列車走行キロあたりの排出量 (2022年)

**0.75t-CO<sub>2</sub>/千キロ**

### ◎CO<sub>2</sub>排出量削減対策 (2022年)

- ・鉄道施設照明のLED化  
踏切照明 (92箇所の踏切道) ほか駅など32拠点をLED化  
年間CO<sub>2</sub>排出削減量 約747t-CO<sub>2</sub>  
(世帯当たりの電力分約410戸分)